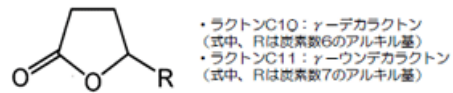


## 【結果2】「SWEET臭」の原因成分は「ラクトンC10／ラクトンC11」だった

10～20代女性に特有の「SWEET臭」の原因成分を同定したところ、その原因成分が「ラクトンC10（ $\gamma$ -デカラクトン）／ラクトンC11（ $\gamma$ -ウンデカラクトン）」であることが分かりました（図3）。

図3「SWEET臭」の原因成分「ラクトンC10」  
「ラクトンC11」の構造



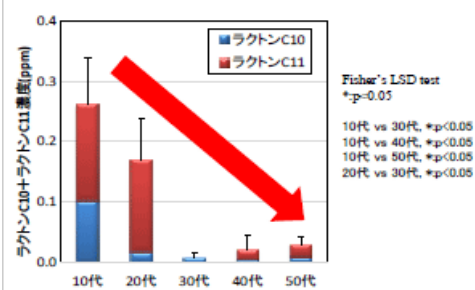
### <試験方法>

「SWEET臭」の官能スコアの高いものと低いものをヘッドスペースガスクロマトグラフィー質量分析計（HS-GC/MS）で分析し、その原因成分を調べた。

## 【結果3】「ラクトンC10／ラクトンC11」は30代以降で激減

10～50代の各世代と体臭中の「ラクトンC10／ラクトンC11」濃度の関係性を調べた結果、30代以降で大きくその濃度が減少していることが明らかとなりました（図4）。これより、「ラクトンC10／ラクトンC11」は10～20代女性特有の体臭成分であることが分かりました。

図4 世代別の体臭中における「ラクトンC10／ラクトンC11」濃度



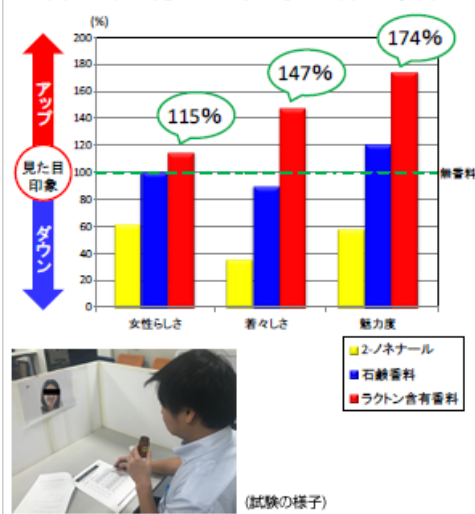
### <試験方法>

回収したTシャツから取り外したものをHS-GC/MSでラクトンC10とラクトンC11を定量した。

## 【結果4】「ラクトンC10／ラクトンC11」で女性の見た目印象をUP！

臭い強度を一定にした各種の香りを嗅ぎながら、「女性らしさ」「若々しさ」「魅力度」に対してアンケート調査を行ったところ、「ラクトンC10／ラクトンC11」を含む香料はそれらを全て上げる結果となりました（図5）。

図5 女性の見た目印象に与える香りの影響



### <試験方法>

「無香料」及び、6段階臭気強度表示法の臭気強度2に揃えた「2-ノネナール」「石鹼香料」「『ラクトンC10／ラクトンC11』含有香料」を用意し、それらの内1種類の香りを嗅ぎながら女性（実年齢平均40歳）の写真を見て、「女性らしさ」「若々しさ」「魅力度」に対するアンケート調査を実施した（n=52）。無香料を100%とした場合、印象がどう変化するかを割合（%）で示した。

# 考察

---

一般的な女性の多くが加齢に伴い、自分自身の体臭の変化を感じていることが知られていますが、その原因の一つとして若年女性特有の体臭成分に「SWEET臭」のある「ラクトンC10/ラクトンC11」が30代以降で減少することによって体臭変化が起こるものと推察されました。また、「ラクトンC10/ラクトンC11」の機能として、女性らしさ、若々しさ、魅力度を上げる効果があることも分かりました。今後、女性の加齢臭に対するアプローチとして、単純に洗浄によって落とすだけでなく、「ラクトンC10/ラクトンC11」の香りを付与することで、女性の加齢臭の悩みに対してより効果的なアプローチが可能であると考えます。

- 「NEVER SAY NEVER」は、ロート製薬株式会社の登録商標（第5838870号）です。